

胸壁外科

■飯田 浩司

出身地 茨城県

昭和59年 東京女子医科大学臨床研修

昭和63年 米国ノースカロライナ州立イーストカロライナ大学心臓血管外科

のち、獨協医科大学，君津中央病院，成田赤十字病院，葉山ハートセンターを経て，平成26年より名古屋徳洲会総合病院・湘南鎌倉総合病院に勤務。

【専門分野】

外科専門医，日本外科学会指導医，
心臓血管外科専門医，
心臓血管外科専門医認定機構修練指導者，
ステントグラフト実施医（各種）

【所属学会】

日本胸部外科学会正会員，日本外科学会，
日本心臓血管外科学会，日本臨床外科学会，
日本冠疾患学会，日本呼吸器外科学会
日本小児外科学会

展望

漏斗胸，鳩胸などの胸壁の異常を持った患者さんを診察，治療するために2014年5月に胸壁外科外来を開設した。その中で最も多い漏斗胸は1,000人に1人ほどの頻度といわれ，成人では胸痛や呼吸困難などの身体症状を伴うことが多い。しかし専門とする医師がきわめて少なく，明確な診断，症状に対する説明，手術適応の決定，的確な手術ができないために混乱が生じている。これらを解消することを当科の目標としている。そのために外来診察だけでなく，医療講演やインターネットで漏斗胸に対する解説を公表して情報の伝達に努めている。

診療実績

2週おきに外来診察を行っているが，外来患者は増加している。手術は呼吸器外科と共同で，2014年には21例，2015年には27例を行った。問題となる合併症はなく，すべての患者が結果に満足し7日以内に退院している。

学術業績と発表

（発表）

1. 飯田浩司：低侵襲な小児漏斗胸手術の要件とは，日本外科学会定期学術集会，名古屋，2015，4.
2. H Iida : Nonprosthetic Repair for Pectus Excavatum in 305 Patients. Asian Society of Cardiovascular and Thoracic Surgery, Hong Kong, 2015, 5.
3. H Iida : Nonprosthetic Repair for Pectus Excavatum. Chest Wall International Group meeting, Hong Kong, 2015, 5.
4. 飯田浩司：異物を留置しない小児漏斗胸手術の検討。日本小児外科学会学術総会，神戸，2015，5.
5. 飯田浩司：高度な左右差を有するMarfan症候群の漏斗胸患者に対する異物を留置しない手術。関西胸部外科学会学術集会，岡山，2015，6.
6. 飯田浩司：胸郭変形疾患の診断と治療。徳洲会小児科部会症例発表会（ミニレクチャー），福岡，2015，7.
7. 飯田浩司：胸郭の疾患 神奈川県保険医協会月例研究会（講演），横浜，2015，7.

（論文）

1. 飯田浩司. 児童生徒にみられる胸郭異常. 健康教室 2015 ; 781 : 64-67.

その他

漏斗胸という診断名がわからないために，自分で調べたり，医療機関を受診することができない

患者が多数存在する。近医を受診しても明確な診断や治療方針が得られず、命には別状はないとして放置されることも珍しくない。成人患者ではこのような繰り返しから、抑うつ状態やパニック障害などの精神的な問題を生ずることもある。また不慣れた医療機関で手術を受けて十分な矯正が得られないこともある。このような潜在的な患者に正確な情報を提供して安心を得ていただくために、インターネット上で胸郭変形疾患について解説している。2014年の月間の閲覧数は600件程度であったが、2015年には平均1,200件、最大1,600件を超えた。また英文のページは常に当院の英文のページの中で最大の閲覧数を記録している。

【漏斗胸—検索】
